

※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●製品落下及び転落のおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

【躯体への固定】

- ・タッピンねじの下穴には指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・タッピンねじは柱、間柱、胴差し等の構造材に必ず止めてください。

【部材の固定】

- ・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。

▲注意

●水漏れのおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

【シーリング処理】

- ・指定の箇所(特に接続部)にシーリング材を充てんしてください。
- ・外壁の上から部材を取り付ける場合は、シーリング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

■施工上のお願い

●本製品はアクトステージA型のけた及び妻ばりを躯体に取り付ける為の製品です。その他の取付けについては「アクトステージA型加工・取付け説明書」(UB1900)を併せてご使用ください。

■取付け順序

1 取付寸法の確認

①下図に従って基本寸法(ℓ、d)を決定します。

※取付部の下地には、必ず柱やはりなどの構造材があることを建築図面等で確認してください。


※ℓはバルコニー間口寸法、dはバルコニー出幅寸法を示します。

※a・b寸法は躯体柱芯から外壁仕上げ面までの寸法を示します。

2 部材の加工

①各部の基本寸法をもとに型材を切断します。

※両袖タイプの場合、両端を均等に切断してください。

※表1内ℓおよびdは、 で決定した寸法を示します。

②各部材の加工

※本図は内観右側が袖壁タイプを示します。

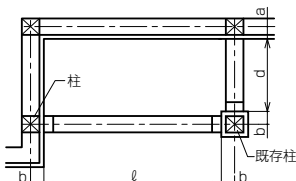
左側は本図と対称とします。

●切断寸法公式表

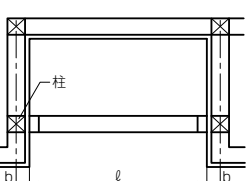
表1

部材名	部材切断長	
	片袖タイプ	両袖タイプ
けた	ℓ-70	
妻ばり	d-35	使用しません

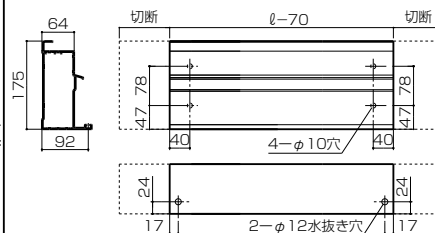
●片袖タイプ(単体)



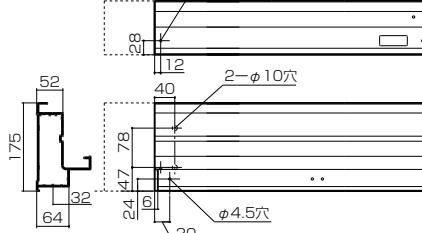
●両袖タイプ(単体)



●けた

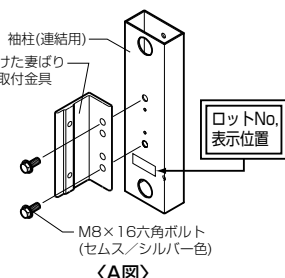


●妻ばり

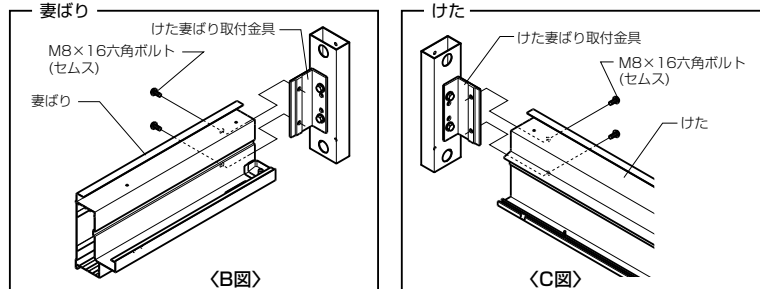


3 妻ばり・けたの取付け

①けた妻ばり取付金具を袖柱(連結用)に取り付けます。〈A図〉



②けた妻ばり取付金具に妻ばり・けたを取り付けます。〈B・C図〉



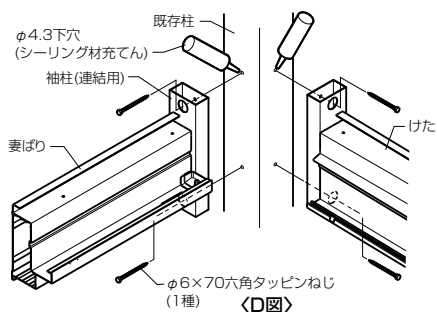
▲警告

●必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。

③袖柱(連結用)を躯体に固定します。〈D図〉

※下穴(φ4.3)にシーリング材を充てんしてください。

※水準器で垂直を出してください。



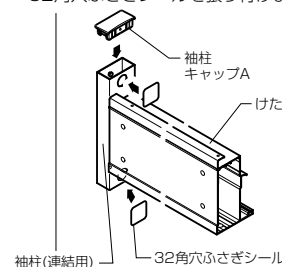
▲警告

●タッピンねじの下穴には指定より太いドリルを使用しないでください。

▲注意

●指定の箇所(特に接続部)にシーリング材を充てんしてください。

④袖柱キャップAで袖柱(連結用)の上下端の小口をふさぎ、φ25穴に32角穴ふさぎシールを張り付けます。



●袖柱キャップAで袖柱(連結用)の下端の小口をふさぎます。

